

## 和光市空家等対策計画の概要

## 和光市の空家等の現状

資料4参照

- ①空家等の所有者からの相談件数が少ない  
市民等から「相談先が分からない」という意見があった
- ②空家等が長期間放置されている  
空家等が増加する見込みである
- ③空家等の利活用に関して、売買の仲介や住宅診断等を依頼している空家等の所有者等が少ない
- ④空家等を適切に管理していない所有者が一定数いる

## 和光市の空家等の課題

資料4参照

- ①市民等に対して、相談対応先を知ってもらう、相談対応できる内容を伝えるための工夫が不足している
- ②空家等を発生させない、放置させないための空家等の実情に合わせた啓発活動が不足している
- ③市民等が利活用に関する具体的な行動を起こしやすい仕組みづくり、対応体制の構築が不足している
- ④空家等を適切に管理することの必要性や、適切に管理するための依頼先等の情報が市民等に届いていない

## 和光市の特徴及び考察

## &lt;和光市の特徴&gt;

## 【立地・環境】

- ・東京外かく環状道路(自動車道)や東武東上線(鉄道)などを含む交通利便性が高く、都心へのアクセスが良好である
- ・市の大半が武蔵野台地に位置し、浸水想定区域の大半が市街化調整区域と工業地帯で水害リスクが比較的低い

## 【住宅需要・密集度】

- ・都市部に近接しており、交通利便性も高いことから住宅需要が高い
- ・住宅需要が高いことから開発も進んでおり、住宅密集度が高い

## 【資産価値】

- ・地価が安定しており、資産価値が維持されやすい

## &lt;考察&gt;

- ・放置されている空家等は、行政のみで対応できない課題を抱えている可能性があるため、民間・地域と連携する必要がある
- ・資産価値が維持されやすく放置されやすい傾向があるため、空家等の発生・放置を防止するための啓発が必要である
- ・住宅需要が高いことから、空き家・空き地の利活用及び市場への流通を促すことが有効である
- ・住宅密集度が高いことから、空家等の管理を怠ると近隣に迷惑をかける可能性が高いため、適切な管理を促す必要がある

## 空家等対策における基本方針(案)

資料5参照

## 全体方針

官民連携により、空家等の発生を防止、市場への流通を促すことで空家等を減らす

取組方針①  
相談体制の拡充取組方針②  
発生予防のための啓発取組方針③  
利活用の促進取組方針④  
適正管理の促進

## 空家等対策における基本施策

基本施策①  
相談先の明確化  
民間と連携した相談対応の充実化基本施策②  
空家等の所有者のライフ  
ステージに合わせた啓発基本施策③  
空き家・空き地の売買の  
仲介等を依頼しやすい体制の構築基本施策④  
空家等の所有者に対して、  
適正管理に関する啓発及びサポート